

## 広告事業推進 PT の取組状況（平成 23～26 年度）

### 1 これまでの経過

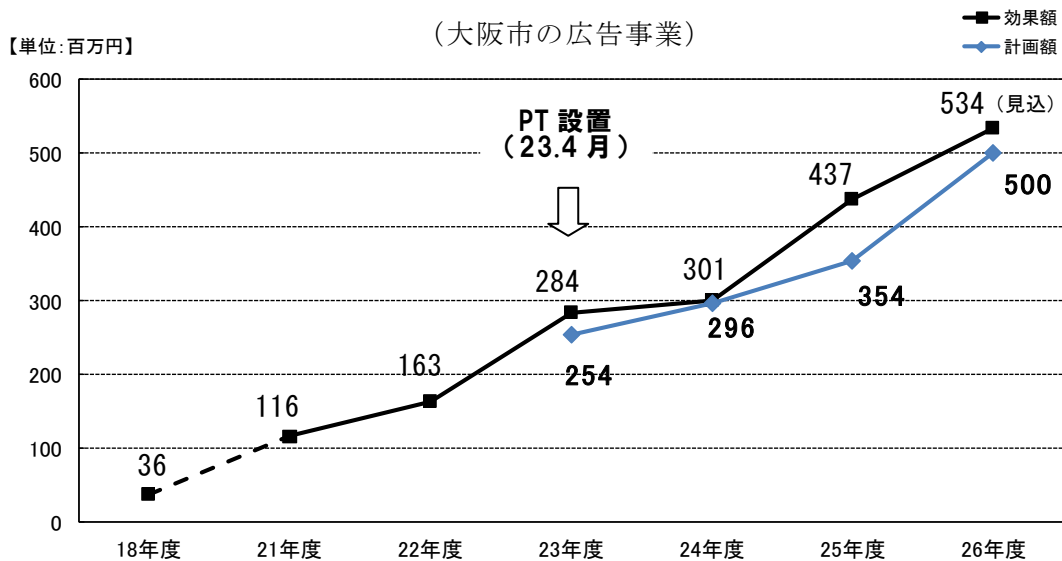
厳しい財政状況の中、持続可能な大阪市を支える行財政基盤の構築を目指し、本市の資産を広告媒体として有効活用することによる税外収入の確保、あるいは経費の削減を図る取組を強力に推進するため、全庁的な推進組織として、平成23年4月に「大阪市広告事業推進プロジェクトチーム」を設置した。

また、平成24年4月には、第3回プロジェクトチーム会議において、平成26年度までの取組方針としての「大阪市広告事業行動計画」（平成26年度目標額：5億円）を策定し、広告事業推進の取組を進めてきた。

### 2 目標額に対する状況

23年4月の広告事業推進 PT 設置後も、着実に実績を伸ばしてきており、「広告事業行動計画」で掲げた、目標額5億円を26年度で達成する見込みである。

また、政令市のなかでもトップクラスの実績となる。



(参考)

【単位：百万円】

	26 予算	25 決算
大阪市	506	437
横浜市	445	442
名古屋市	441	381
千葉市	430	384
広島市	305	374

### 3 行動計画に基づく取組成果

#### (1) 媒体別の状況

(単位：百万円)

媒体	26年度 見込 (A)	23年度 実績 (B)	増▲減 (A) - (B)	26年度 計画 (C)	増▲減 (A) - (C)
(1) ネーミングライツ	138	19	119	157	▲ 19
(2) 施設を活用した広告	244	120	124	176	68
(3) その他の媒体	152	145	7	167	▲ 15
HPバナー	17	21	▲ 4	29	▲ 12
広報紙	41	50	▲ 9	52	▲ 11
封筒	7	8	▲ 1	10	▲ 3
印刷物	39	41	▲ 2	43	▲ 4
公用車	0	0	0	1	▲ 1
ディスプレイ	34	17	17	23	11
その他	14	8	6	9	5
<b>合 計</b>	<b>534</b>	<b>284</b>	<b>250</b>	<b>500</b>	<b>34</b>

※26年度見込…26年7月末の契約済額に、過去の契約実績等を反映して算出した見込額。

※隔年事業は平年度化している。

※歳出削減額を含む。

〔主な取組成果〕 ※金額は26年度見込。

ネーミングライツ 138百万円

- ・長居陸上競技場、長居第2陸上競技場  
(ヤンマースタジアム長居、ヤンマーフィールド長居) 108百万円
- ・梅田新歩道橋 (ROHTO よろこビックリ梅田新歩道橋) 6百万円
- ・阿倍野歩道橋 (鮎屋萬助・阿倍野歩道橋) 4百万円

施設を活用した広告 244百万円

- ・大阪駅前地下道 161百万円
- ・区役所庁舎内 (エレベーター内、壁面など) 45百万円
- ・阿倍野歩道橋広告板 13百万円
- ・自転車駐車場 (京橋など) 2百万円

その他の媒体 152百万円

区広報紙 41百万円 ※市政だよりはH24.8月で廃止

ディスプレイ 34百万円

〔課題〕

募集は行っているものの応募がないなど、ほとんどの媒体で計画額を達成できていないため、取組を一層推進していく必要がある。

計画未達成の媒体：ネーミングライツ、施設を活用した広告 (市民利用施設等)、HPバナー、封筒、パンフレット等印刷物、公用車

## (2) 屋外広告物の規制緩和

### ・屋外広告物条例の改正（25年1月施行）

- 官公署等（本庁舎、区役所庁舎など）の屋外広告、道路照明灯等の道路上の設置物件への広告掲出が可能  
〔町名街区案内板（25年度）〕

## (3) 戦略的な広告事業展開

### ・ワーキンググループによる検討及び意見交換

- 募集要綱の検討など意見交換を行い、ネーミングライツの取組を推進  
→関係局（経済戦略局、建設局、港湾局）で構成

### ・広告事業全般に関する相談窓口の設置（24年4月）

- 25年度相談件数：50件（うち民間提案3件）  
（民間提案の例）
  - ・広告付き周辺案内図 →区役所での実績につながる
  - ・道路照明灯へのフラッグ広告掲出
  - ・庁内案内板（タッチパネル） など

## 4 その他の取組

### ・局所管財産を活用した区の広告事業：6区（26予）

- 区が募集事務などを担うことにより、財源（50%）を区に配分

### ・広告募集案内等のメールマガジンを配信（週1回）

- メールマガジン登録数：574

### ・事務マニュアルの改訂

- ネーミングライツに係る募集事務に関するマニュアルを追加するなど、事務マニュアルを改訂（25年3月）

### ・広告事業推進PT幹事会での情報共有

- 取組内容の情報共有、進捗管理など  
開催回数9回（23年5月～26年10月）